



ふれあい 市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

—地域のお祭りを次世代へと繋げていくために—

今年の4月、5月は穏やかな天候に恵まれ、各地で春祭りが盛大に開催されました。穏やかな空の下、地域に賑わいと活気が広がる様子に、私も大きな喜びを感じています。

私自身、地域のお祭りには特別な思い入れがあります。小学生の頃には、宵宮で金魚すくいに夢中になり、少し離れた場所の祭りにも自転車で出かけたものでした。二十歳には、東京から帰省して神輿を担ぎ、フランス勤務中に迎えた初老の春には、夜行便で帰国し行事に参加したことが印象深く心に残っています。思い返すと、祭りをはじめとして、さまざまな節目にふるさとと関わってきたことで築かれた絆や経験が、今こうして市長としての仕事に携わることへとつながっているのだと感じています。

祭りは、地域の文化や歴史を受け継ぐ「縦の糸」であり、同級生や先輩・後輩との絆を深める「横の糸」としても、地域の宝です。コロナ禍では、祭りをはじめ多くの行事が中止となり、地域のつながりが薄れてしまうのではと心配しました。そこで令和4年度には「地域行事等再開

応援事業補助金」を創設し、多くの自治会が再び祭りを開催する姿に、「さすがは南あわじ市」と大きな力強さを感じたものです。

一方で、担い手不足という大きな課題にも直面しています。今年も人数が集まらず、だんじりを出せなかった自治会がありました。少子高齢化が進む中で、この傾向は今後さらに広がるのが懸念されます。

地域の絆は、防災や福祉、日常の安全・安心を支える土台です。その象徴である祭りを守っていくには、新しい工夫が欠かせません。近年では、女の子がだんじりに乗ったり、唄に女性が加わったりと、担い手の幅が広がってきました。沼島では島外からの助っ人も迎え入れ、男女問わず多くの人が春祭りを楽しんでいます。若者の発案で神輿の後にコンサートを開催する例も出てきました。

こうして多様な人が関わることで、新しい視点からの提案やアイデアが生まれ、祭りの魅力がさらに高まり、地域の絆も深まっていく。そんな好循環が生まれることを期待しています。

伝統を守りながら変えることには困難も伴いますが、伝統とは人が時代とともに育てていくものです。千年続く日本企業の多くが、創業の精神を守りつつも、時代に応じて柔軟に事業を変化させてきたように、地域のお祭りもまた、奉仕の心や「皆で楽しむ」という精神を大切にしながら、しなやかに時代に適応し、未来へとつながっていくものだと私は信じています。

市役所としても、地域の皆さまとの対話の中で知恵を出し合い、これからの祭りのあり方を共に考えてまいります。

の特色を生かした学びを深めつつ、地域とのつながりを大切にまいります。市民の皆さまにも、学生たちのさまざまな活動を通して、本キャンパスをより身近に感じていただければ幸いです。引き続き、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



新入生歓迎会

オープンキャンパスのお知らせ

日時 6月15日(日) 13:00～15:30
場所 吉備国際大学南あわじ志知キャンパス
内容 学科紹介、ミニ講義、個別相談など
申込み・問合せ(要予約)
大学ホームページからの申込みもしくは電話予約
入試広報室フリーダイヤル ☎ 0120-25-9944
※メールアドレスをお持ちでない方は電話にてお申込みください。申込確認メールを受け取るにはお使いのモバイル機器の接続を確認し、「パソコンから受信」できるようにしてください



新入生歓迎会を開催

4月23日、農学部1年生を対象に新入生歓迎会を開催しました。新たに入学した学生たちは、地域創成農学科および海洋水産生物学科の在学生とともに、キャンパス全体が一体となった素晴らしいひとときを過ごしました。在学生たちが企画・運営を担ったステージでは、約20のサークルによる紹介に加え、軽音サークルによる生演奏が行われ、会場は大いに盛り上がりました。サークル活動を通じて、学生たちは多様な背景を持つ仲間と出会い、新たな交流の機会を得ることができると期待されます。南あわじ志知キャンパスでは、今後も農学部ならではの



オープニングセレモニーでのテープカット



施設2階にオープンしたふくカフェ2号店

南あわじ市の冬の風物詩である「灘黒岩水仙郷」が令和7年4月23日より1年間を通じた営業を開始しました。絶景の展望テラスに加え、四季折々の花などを楽しむことができる施設に変わり、市民や観光客の憩いの場、サイクリストの休憩所としてご利用いただけます。施設の2階にはふくカフェ2号店「BASE COFFEE」がオープンし、こだわりのコーヒーやワッフルなどを提供しています。

開館日 水曜日～日曜日
午前9時～午後5時
※変更の場合があります
カフェ営業日
水曜、土曜、日曜、祝日
午前10時～午後4時
※カフェ営業日は市ホームページに掲載中
駐車場 67台(無料)
「灘黒岩水仙郷」施設愛称募集中
対象 施設を訪れた人
※最優秀賞の人には豪華特産品をプレゼント
応募期限 9月23日(火)まで
関商工観光課 ☎ 43・5221

灘黒岩水仙郷 1年間を通じた営業を開始



市ホームページ

ありがとうございます 寄付金贈呈式を開催

災害時のトイレ問題の解消に役立ててもらおうと、神戸市在住の加藤昌平さんから、市に500万円の寄付がありました。4月18日、市役所で寄付金の贈呈式が行われ、加藤さんから守本市長に目録が手渡されました。加藤さんは、阪神・淡路大震災で家族が被災した経験があり、「家族からトイレが一番困ったと聞いた。トイレカーがもっと全国的に広がってほしい」と話しました。寄付金は2台目のトイレカー購入費用として活用します。



感謝状を手にする加藤昌平さん(左)と守本市長

5年に一度、全員参加の統計調査 国勢調査の実施本部を設置



看板を掲げる守本市長

令和7年10月に実施する国勢調査の前に、4月18日、市役所内に国勢調査実施本部を設置しました。国勢調査は、5年に一度行われる国の最も重要な統計調査で、今年で22回目。10月1日現在で国内在住のすべての人が対象となります。調査結果は、少子化対策や高齢者福祉、防災計画など、生活に欠かせないさまざまな施策に活用されます。9月中旬から調査員がすべての世帯に調査書類を配布しますので、ご回答をお願いします。